

北信越2位でIH出場

令和6年度北信越高等学校総合体育大会 ホッケー競技



↑相手選手のパスをブロックする関野選手(34H)



↑北信越2位の表彰を受ける藤永主将(34H)

先制守れず

男子は序盤で先制したが、終盤に追いつかれSO戦(サッカーでいうPK戦)に。0対3で惜しくも敗れた。関野選手は、「インタビューで優勝したチームに先制点を決めることはできなかったが、勝ち切ることができなかった」と悔しさを隠さない。藤永主将は、「前半はいいペースだったが、後半は徐々に相手のペースに

6月16日(日)福井県の越前町朝日総合運動場で令和6年度北信越総体ホッケー競技の決勝が行われた。石動高校男女ホッケー部はいずれも丹生高校(福井県)と対戦し男子は1-1(0-3)、女子は0-3で敗れたものの、北信越2位で全国大会出場を決めた。

立ち上がり意識



↑巻高校(新潟県)戦での得点を喜ぶ石動の選手。(中央が田屋選手)

なった」と力負けを嘆いた。

女子ホッケー部の遠藤主将は、「1位で出場権を得られなかったが、全国総体に向けて立ち上がりを意識して練習したい。本番では全員が自信をつけ優勝する」と笑顔を見せた。田屋選手は「丹生はスキルだけでなくメンタルも強い。プレー以外の面でも尊敬できる。自分たちも基礎的なことから高めていきたい」とライバルの背中を追う。